

ミライニを居心地の良い 空間にするために

グループEメンバー

渡辺拓	三浦優羽	下山千尋
大平健太郎	福井駿	大河内飛向

目次

1,現状

2,課題と解決策

3,期待される効果

1.現状

- 施設内における利用者の迷惑行為に職員が口頭で注意することがあるが、それは注意する側もされる側も快い気持ちではない。そのため、利用者の苦情や要望に応え改善を図る意図から、禁止掲示が増える傾向にあり、それにより施設の空間の魅力や居心地が阻害されてしまっている。

→禁止掲示なしでもマナーが保たれる施設としたい

- 現在のミライニは主に学習スペースとして利用されており、既存の図書館と同じように静かに過ごす空間としてイメージされることが多い

→会話や音等を一定程度認めていることを周知させたい

課題

ミライニ側からいただいたテーマ

「ミライニを禁止事項の無い施設として運営していく手法」



課題1

- 施設の景観を崩さずに、マナー向上を図るには

課題2

- 多様性と賑わいを感じてもらおう図書館にするためには

課題 1

施設の景観を崩さ
ずに、マナー意識
の向上を図るには



課題の設定理由

禁止掲示が多くなると、
施設の空間の魅力や居心地が
阻害されてしまう



禁止掲示を作らず、施設の
景観を保ちつつ利用者に
ルールを守って快適に
滞在してもらいたい



施設の景観を崩さずに、
マナー意識の向上を図る
には



解決策

①本の保護対策

②ポイ捨て、置き
捨て対策



①本の保護対策

- 本の表紙裏に「本を大切に扱いましょう」などの言葉を書いたしおりを挟む。

→「できる調」で注意を促すことで利用者の気分を損ねない

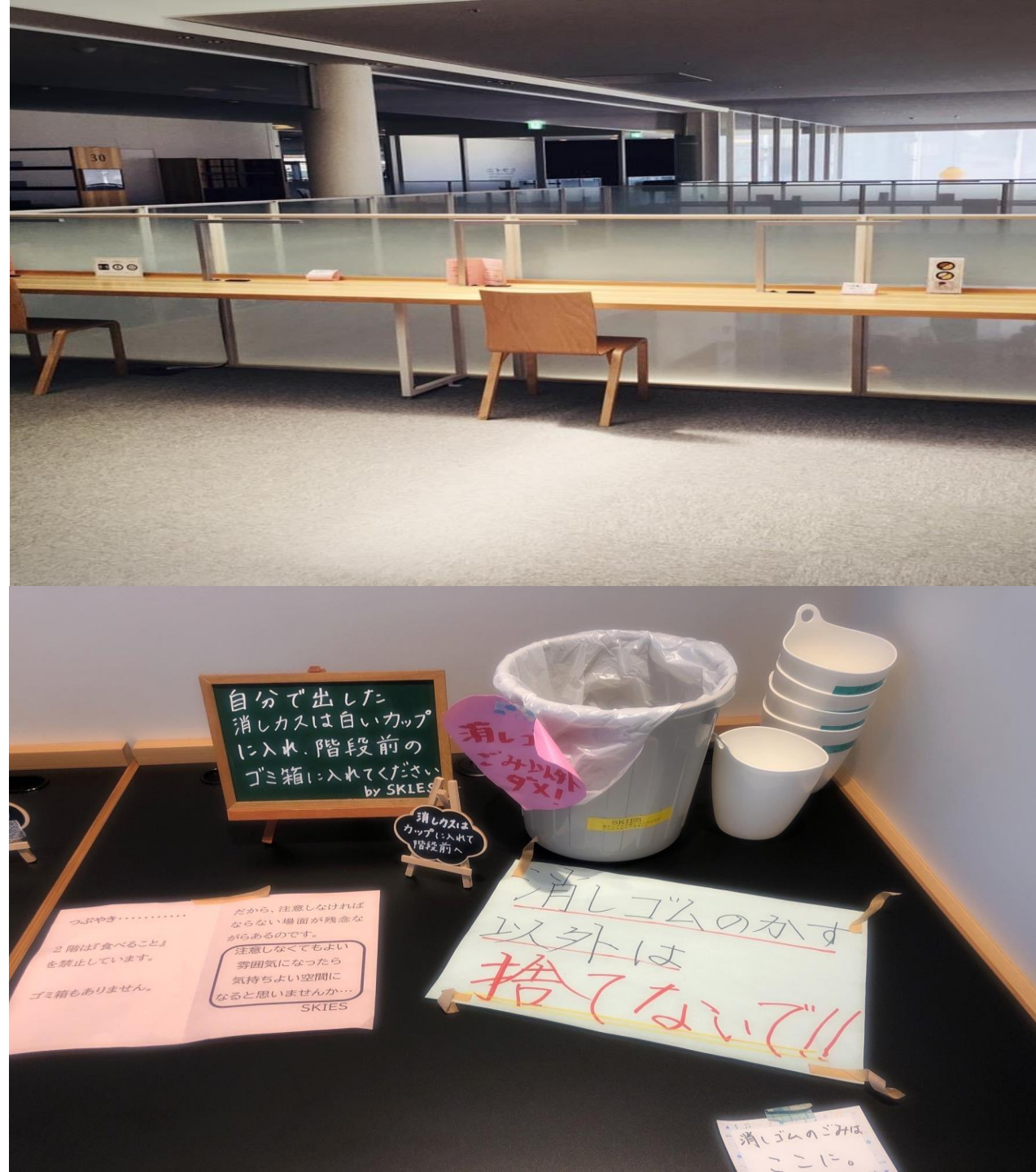
- ミライニに設置してあるスクリーンやデジタルサイネージ(電子掲示板)で本の扱い方を呼びかける。

→施設内の多数の人々にマナー意識の向上を呼びかけることができる



②ポイ捨て、置き捨て対策

- 個人ごとのゴミ箱、又はゴミ袋を用意する。(使用中の表示をつける)
→消しカス用のゴミ箱を使用する
- 出入り口などの屋外にゴミ箱を設置する。
→屋外に設置すれば景観は崩れないのではないか
- 常に綺麗な状態を保つ



課題 2

多様性と賑わいを感じてもらおう
図書館にするためには

2階



Wi-Fi

多目的トイレ



トイレ

デッキラウンジ

図書館
エリア

1階

しずかな部屋

□ アナウンスを流して会話や通話の促進

□ 2Fも1Fと同等の音楽を流す

飲むことは可能であることをアナウンスする

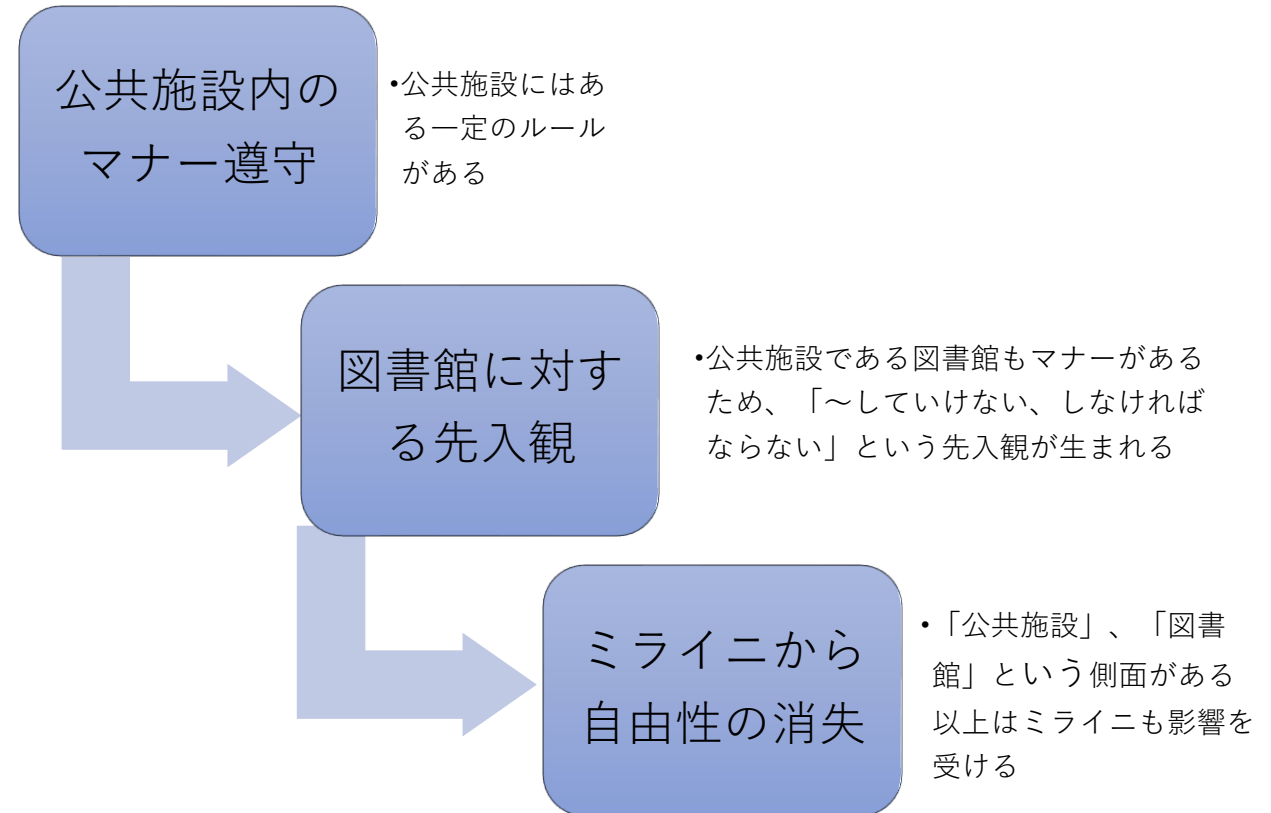
方針（Eチームの総意）

「多様性と賑わいを感じてもらおう図書館にするためには」

• 多様性とは？



• 現状



未来の図書館ロードマップ（仮称）「*project RD.Lotf*」

ヒト

多少の節度は持つが「マナー」という壁を壊すべし

モノ

単に貸借するだけの関係から、やり取りする関係にするべし

コト

施設内での催し、イベントの方向性を自由にするべし

多
様
性

チームとして、「図書館」に既存イメージがある以上は、「図書館という側面を持つミライニ」もその影響から逃れることは出来ないと考えた。つまり、利用者が既存の「図書館」というイメージをミライニに適用してしまう可能性がある。そのイメージや関係するマナー・ルールに順守するあまり、利用者自らが自身の行動や利用方法を制限してしまう恐れがある。結果的にミライニの多様性が消失してしまい、理念に反するとも考えた。それ故に...

既存図書館の イメージの脱却

を主軸に多様性の創出及び賑わいあるミライニづくりの起点とすることにした。

出来る

ことを知る

既存

イメージの脱却

多様性の

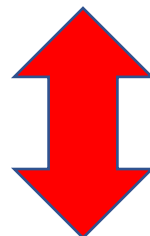
創出

意図・意義（1F）

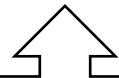
▶スクリーンやテレビモニターで基本的な施設理念の周知



- I. この施設がどのような施設か知ってもらう
- II. 既存の図書館のイメージを払拭するために一度は基本理念を知って貰う必要がある



しかし原文ママの状態であると伝わりにくいため
絵や図などで分かりやすく表す動画等は作成



分かりやすさの追求を優先（他の施策も）

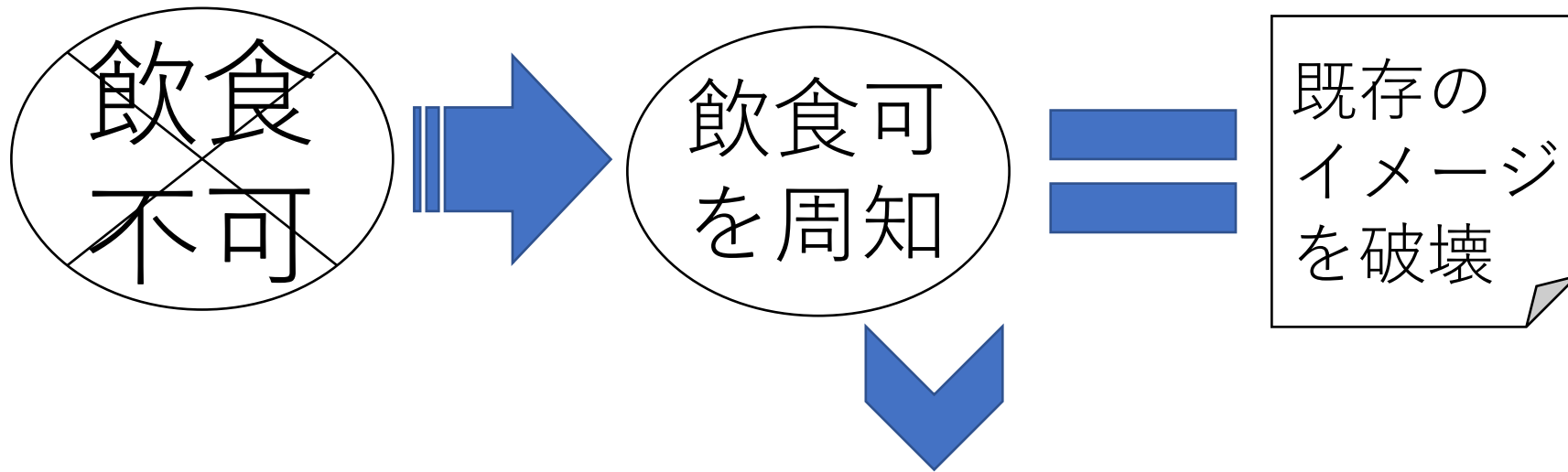
➤ 1Fは飲食可能であることを示した上でどのスペースで可能か知らせる



I. 意外にこの事実を知らない人が多い印象（現地調査の限り）

※C棟完成に伴うコンビニ等の開店での影響は含まない

II. 前述の既存図書館のイメージとして「飲食不可」がある



- ◆ 飲食可の周知によって既存イメージの払拭を後押しする。
- ◆ 現状、パンフレットのみ。アナウンスやモニター、飲食可能箇所にピクトグラムや写真の貼り付けを行い、スペースへの誘導も同時に図る。
- ◆ 起こるであろうポイ捨ての対策は別項。

意図・意義（2F）

➤ 飲むことは可能であることをアナウンスする

➡ 以下、「1Fは飲食可能であることを示した上でどのスペースで可能か知らせる」部分と同文であるために省略

➤ 2Fも1Fと同等の音楽を流す

➡ 後述の「アナウンスを流すことで会話や通話可能な事を周知させて、賑わいの促進」部分と共通するためにここも省略

意図・意義（共通部分）

▶アナウンスを流すことで会話や通話可能な事を周知させて、賑わいの促進



- I. 既存イメージに「静か」がある
- II. 単純に会話が無ければ「賑わい」が創出されない
- III. 通話が問題視されているが個人の音量に起因するため



「静か」はミライニに当てはめれば「静か過ぎる」と感じる。現地調査でもそのような印象を受けた。また、静かな雰囲気であると利用者も会話や通話を躊躇してしまうと感じた。

➤ アナウンスが聞こえない場合...

I. パンフレットに記載

II. QRコードを導入（当初、QRコード柄のカーペット等を用意して読み取らせるといった案は存在した）

III. 障碍がある方専用受付や案内所でのサポート

IV. 点字を導入する

話しやすい雰囲気づくりのため

ex)本大学のカフェテリアで行っているようにラジオ放送を流す

のように放送や音楽を流す、または案内を行うことで会話や通話を促進する。

※1 会話に伴う騒音対策は別項

※2 「しずかな部屋」等の静音を要する部屋や区画においてはアナウンスに留め、放送・音楽を流すことは行わない。

※3 前項の「既存図書館のイメージ」は以下のデータを参照した

◆ 公共図書館のイメージについての調査研究—図書館と書店のイメージ比較— 長谷川幸代
(jst.go.jp)

◆ 図書館サービスに関する市民意識調査 報告書(funabashi.lg.jp)

◆ 2021年『日本の図書館』調査 (jla.or.jp)

市民、観光客への呼びかけ

市民向け

- ミライニオープンに合わせて広告を市内に配布、掲示
- 「まいぷれ酒田」に情報を掲載
- 幼稚園や保育園、親子向けのイベントの積極的な開催

観光客向け

- 酒田駅や庄内空港で広告等の掲示
- ANA SHONAI BLUE Ambassadorの方との協力

両方向け

- Instagramの活用

実際の館内の利用されている様子を映える写真や動画として投稿

5.期待される効果

メリット

- 禁止事項の張り紙を減らせる
- 既存の図書館のイメージを脱却
- 市民、観光客などにミライニのアピールになる

デメリット

- 間接的に呼びかけることから全利用者に効果が出にくい
- コストがかかる
- 自分達以外に協力者が必要

ご清聴ありがとうございました。